


TS騎士

悪
心
随
ち









マズアの神子は
まだあどけない少女だ


他の国や街の他の神子たちも
そうであるように
生まれた直後に寺院に納められ

以来俗世から
徹底的に隔離され
丁重に育てられてきた




この世で人の住める
土地は狭い

奇跡の力で聖域を作り
維持するのが神子の
最も重要な責務だ



破戒と知りつつ
いつも私は心中で
神子様と他の子供たちとを
比べずにはいられなかった

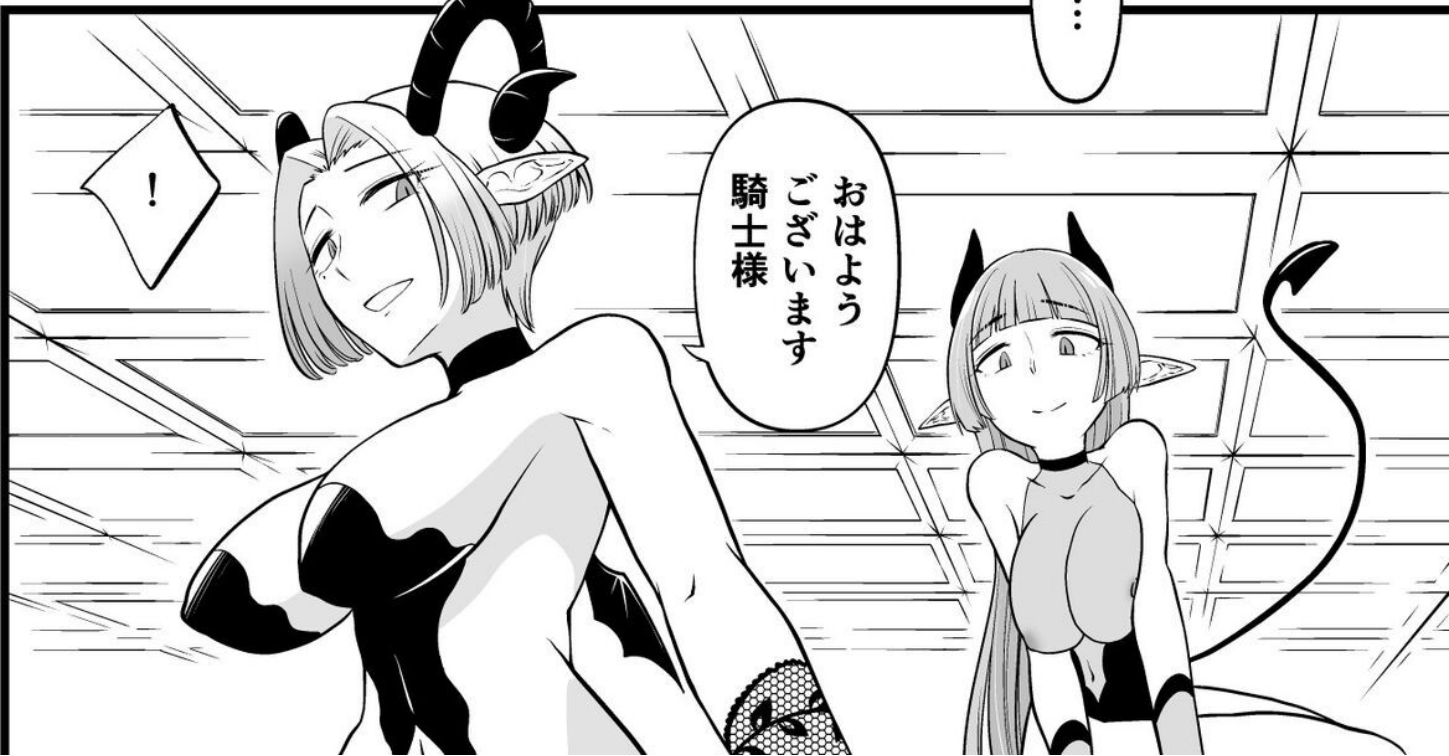
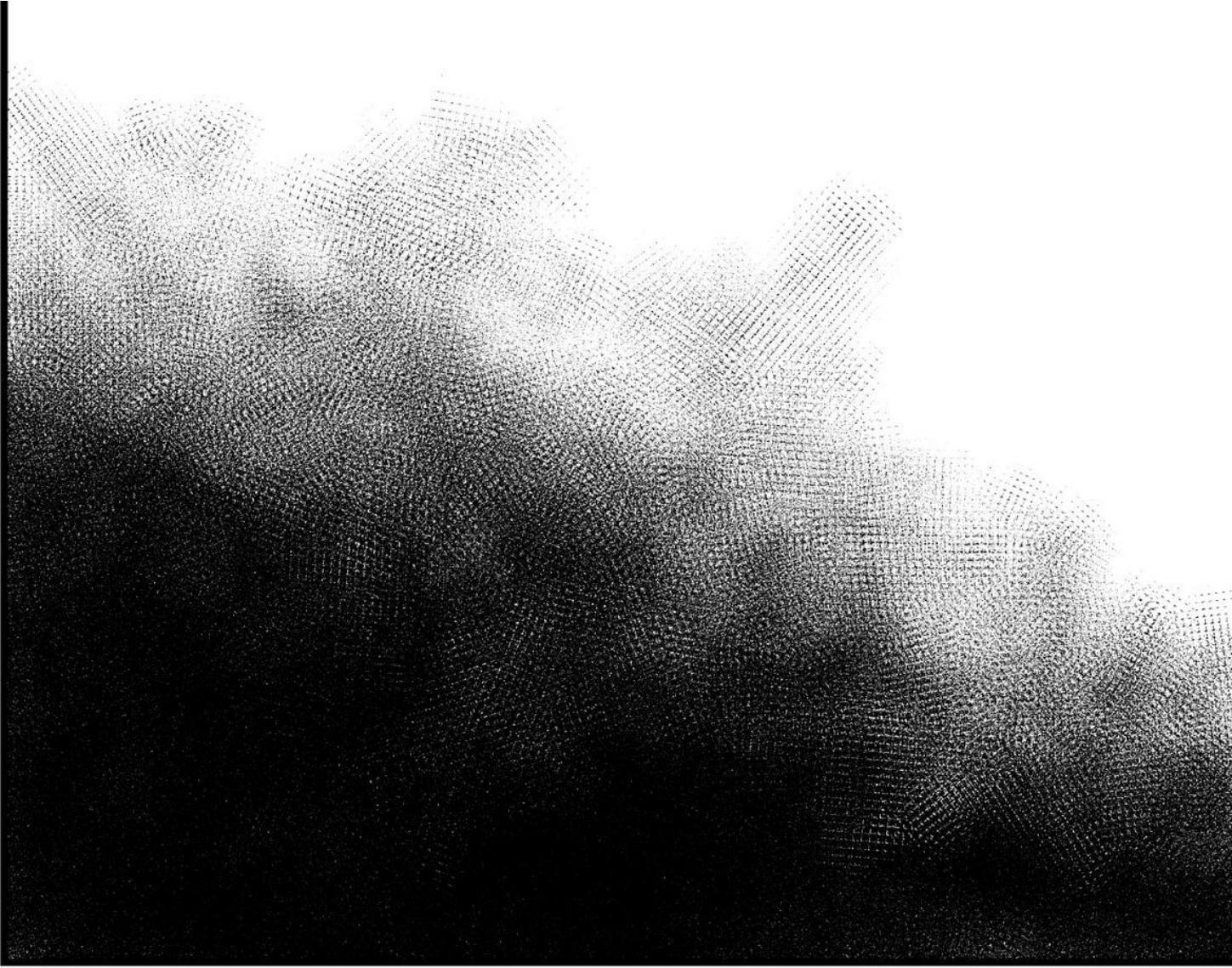


神の化身として魔から
人々の安寧を護るため
日々己を高めなければ
ならない

その生活は禁欲
そのものである



その歳不相応に
暗く大人びた眼を…





ご自身でも
お分かり
でしょう？

貴方様にはもう
抵抗できるほどの
力は残って
おりませんわ



あんな
お疲れなのですから
ごゆっくりなさいますせ



それどころか
身を支える
ことすらお辛い
のではなくて？



そんな
悲しいことを
おっしゃら
ないでください

キユ...

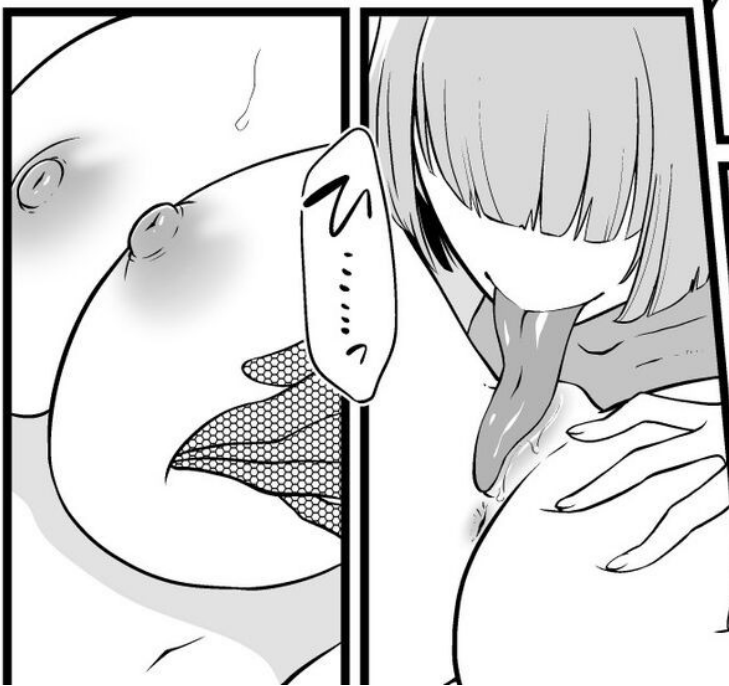


まあ...

こうなって
しまった以上
貴様らを笑いながら
死ねれば本望



だからこそ
心で抗うのだ





貴方様も薄々勘づいていらっしやいませう？

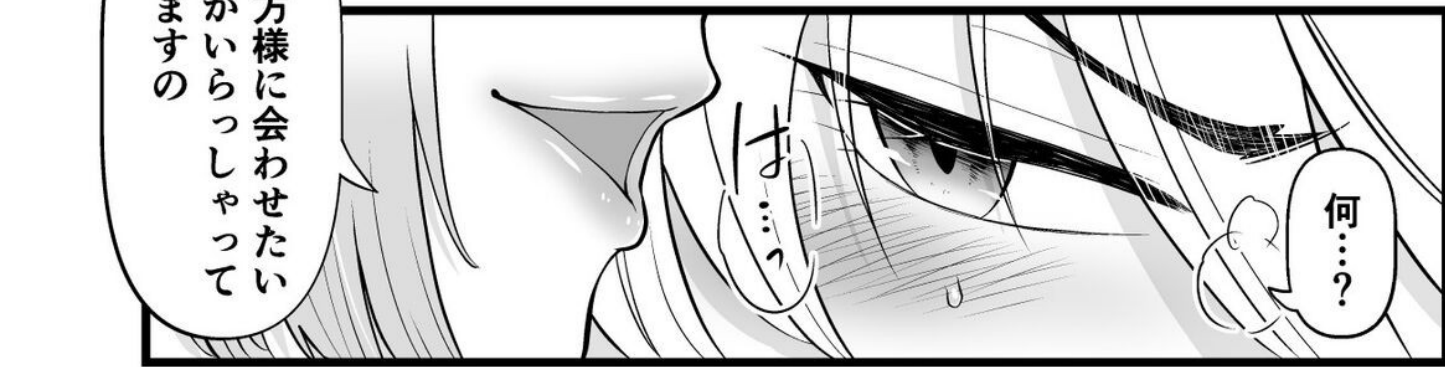
「初めから」…

我々は決して強大な魔力を持っていないわけではありませんわ

思えば初めから
そうだ

それなのになぜ神の加護を授かりし聖騎士様がこんなにも呆気なく弄ばれてしまうのでしょうか

…貴方様に会わせたい
お方がいらっしやっ
ておりますの



何…？



な…



フォルテイス…



ギイイミ



貴方様も薄々勘づいて
いらっしやいませうう？

「初めから」…

我々は決して強大な
魔力を持つている
わけではありませんわ

それなのになぜ
神の加護を授かりし
聖騎士様がこんなにも
呆気なく弄ばれて
しまうのでしょうか

思えば
初めから
そうだ

…貴方様に会わせたい
お方がいらっしやって
おりますの

何…？



な…



フォルティス…



ギイイイ



貴様らっ

そのお方から
離れ…

ま
あ
ま
あ
♡

神子様…!?



何と…



ああ…本当に
フォルティス
なのですか

こんな…

信じられ
ません









私の気持ち...

受け取って
くれますか?

...っ!



み：神子さま！
目をお覚まし
ください！
お気を確かに！

私は正気です

むしろ今の方が
私らしいとさえ
思うのです



神の傀儡を
演じていた
ときよりも
ずっと...



では
その是非



違います！
あなたは
惑わされて
いるだけだ！

魔に付け入られ
精神を侵されて
いるのです！

直に判断して
くださいっ…♡

夫婦の婚姻の
儀の意味を

恋文を読み合う
男女の存在を
知るたびに

こうしたいと
身体が疼いて
仕方がなかった
のですよ♡



ああっ♡

すごい…♡

これが本物の
あなたの中
なのです…♡

けれど街の誰も
私の悩みを
知ろうとしては
くれなかった



無知蒙昧な私に
淫魔
アイリス達は
知恵と

手段を与えて
くれました



ただ神の声を
聞けと

民を思い
微笑んで
いよと



あなたをお慕い
したかった

…私と同じ年の
娘たちと
同じように

はあ…

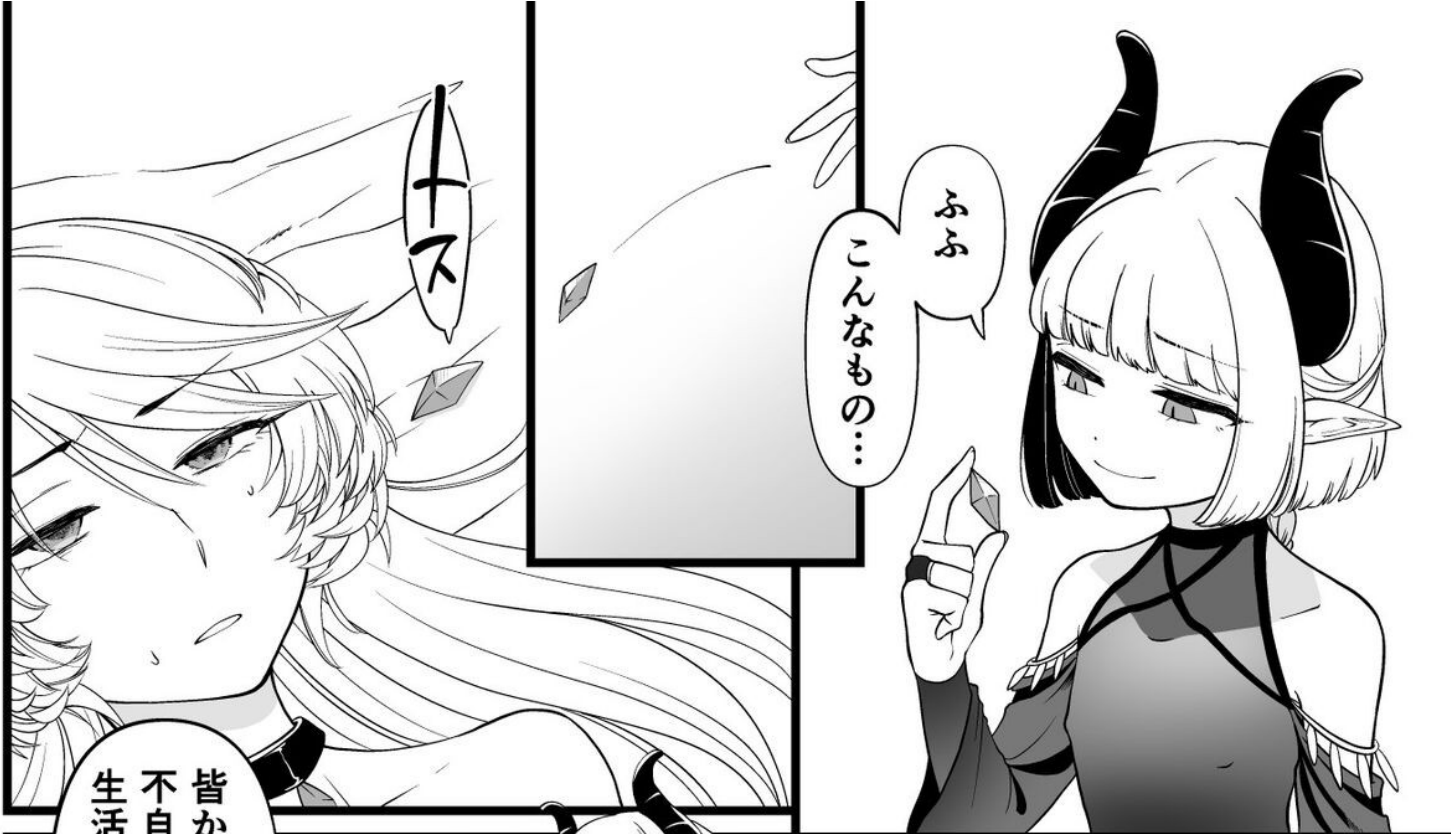


ギッ
ギッ
ギッ

ギッ
ギッ
ギッ

あ

ギッ



ふふ
こんなもの…

皆からの崇拜も
不自由のない
生活もいらぬ

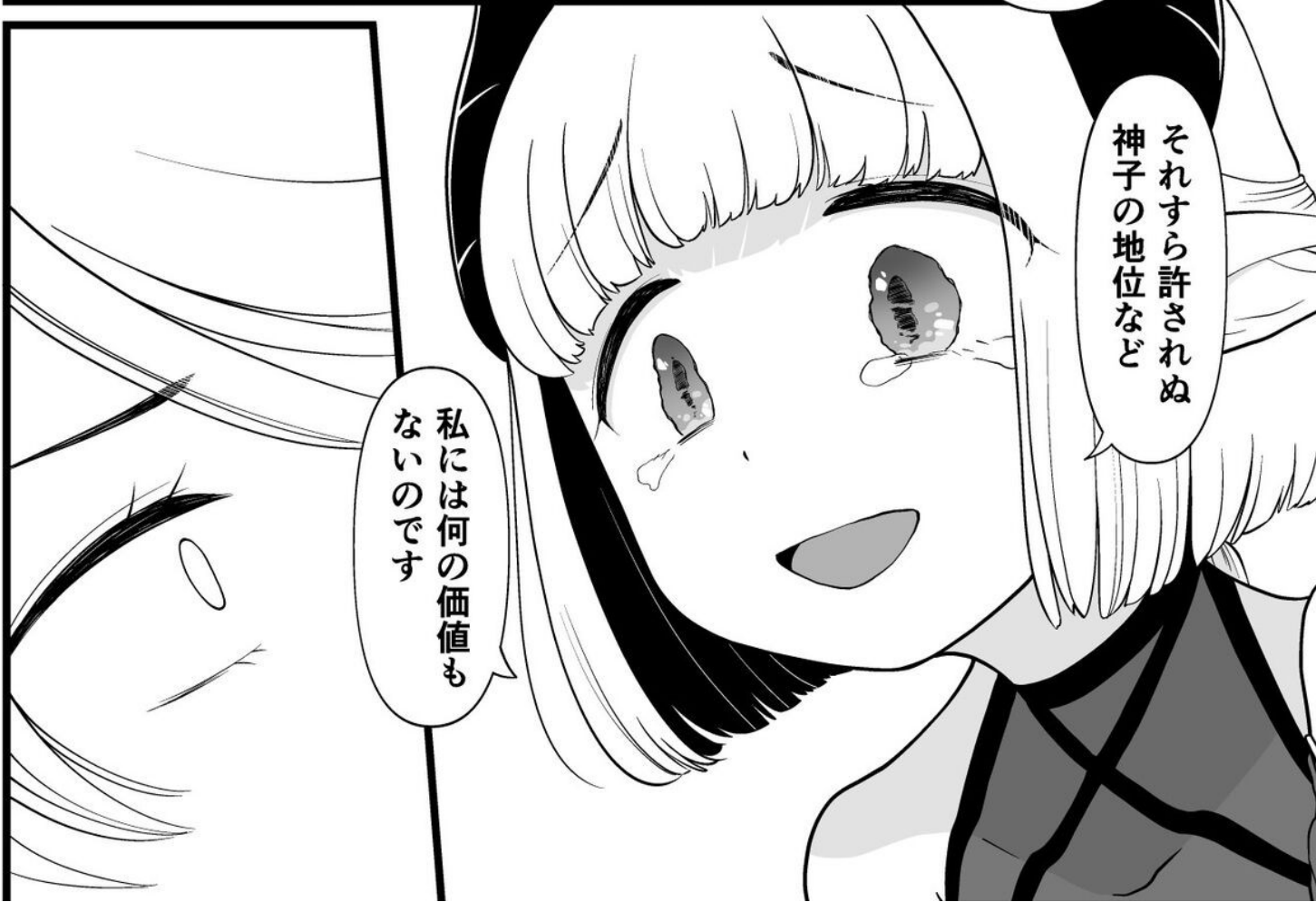
…ただ

この胸の痛みを
表す言葉を知る
だけで良かった



それすら許されぬ
神子の地位など

私には何の価値も
ないのです



それから

幾度となく
神子様
に注がれた

虚しさ

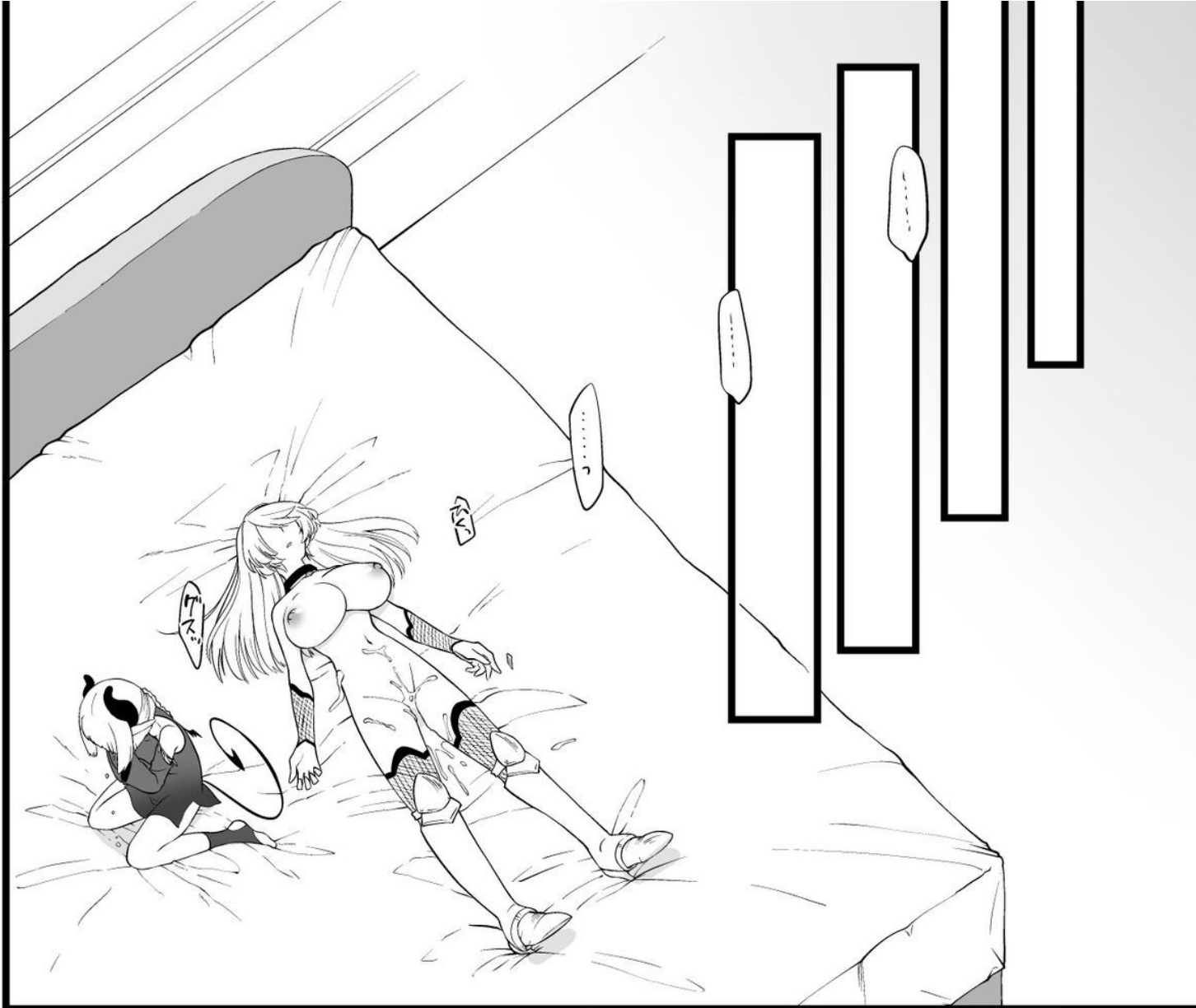
その度に
伝わってくる
やりきれぬ
悲しみ

私がお応えせぬ限り

どれほど長い間
それらを
お独りで抱えて
こられたのか

そして何度
繰り返しても尚
このお方は
虚しいままなのだ



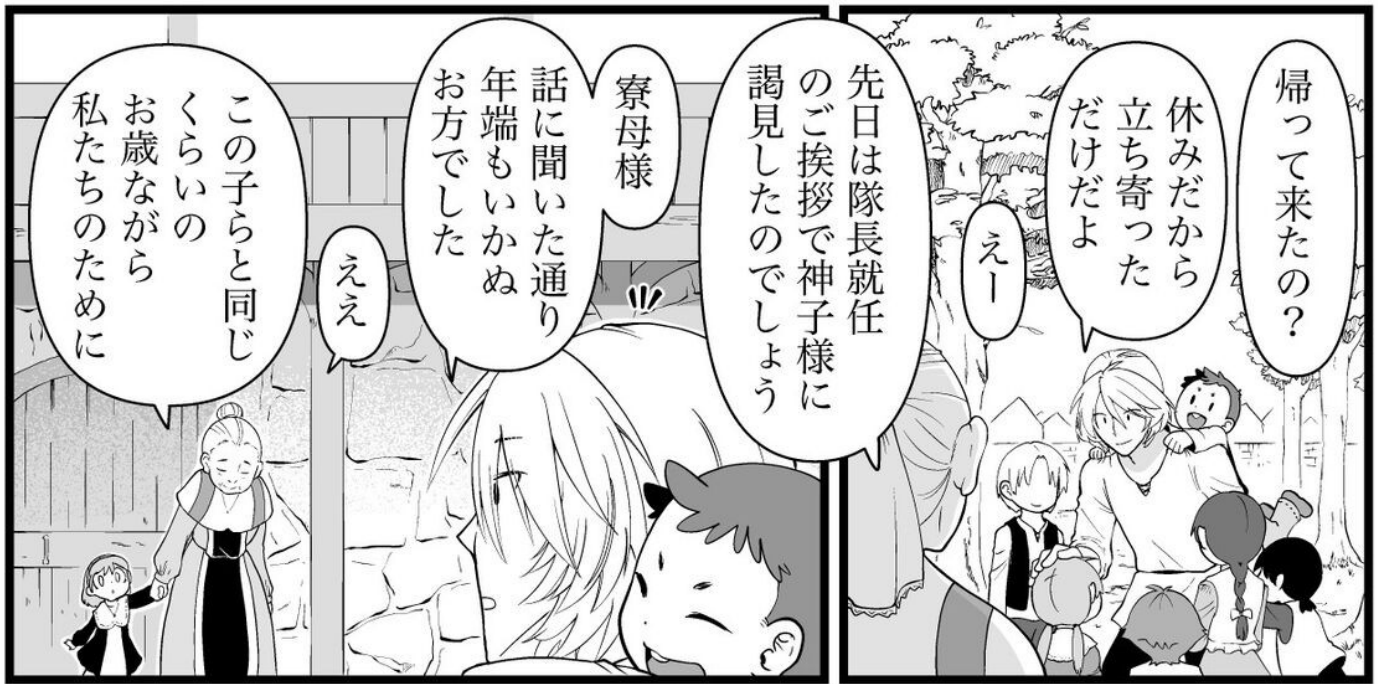


私はなぜ

今まで目を
逸らしてきたのか

神子さまとて
他の少女と
何ら変わらぬのだ







ならば貴様が
聖域を維持し
魔から街を
保護してみよ

無礼者が



神子様の悲喜は
神の悲喜だ

凡人の矮小な
物差しで測れる
ものではない

その憐憫こそ
愚弄と知れ

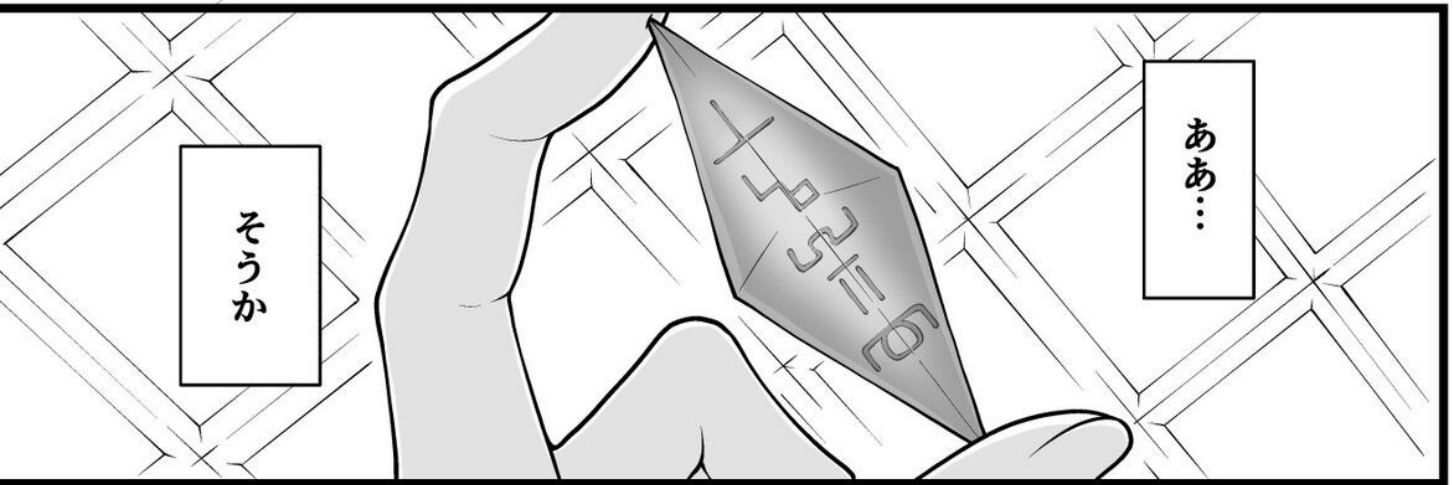
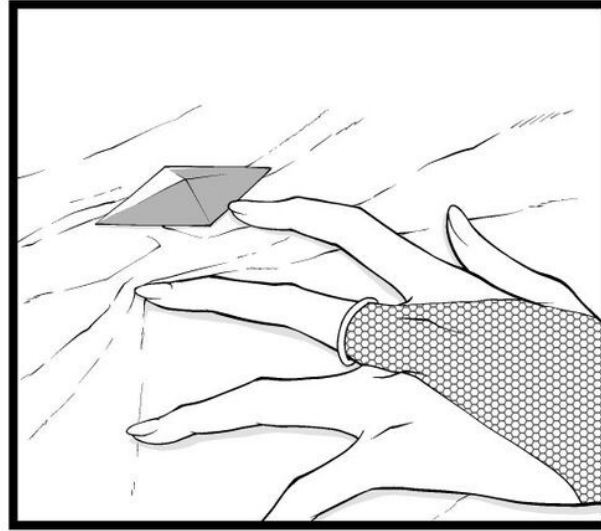


なぜ気づかなかった

我々は

神は

たった1人の
少女の心すら
救えぬことに



神子の名は
神と俗世を繋ぎ
奇跡の媒体と
なるもの…

汚れを許されぬ故
何人も貴女の
名を知らず
誰からも
呼ばれなかった

それは貴女ご自身は
この世のどこにも
存在しない
ことを意味する

そうだ

よくも聖騎士
などと…

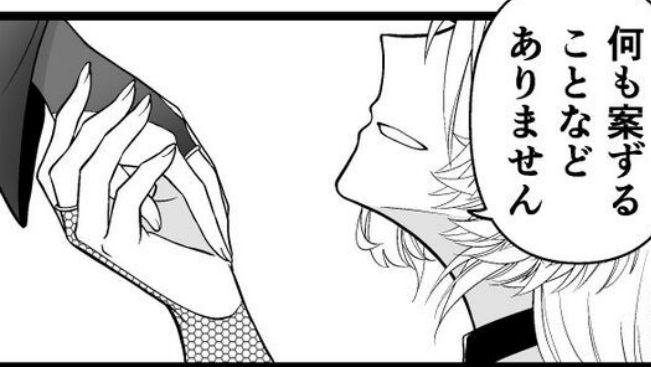
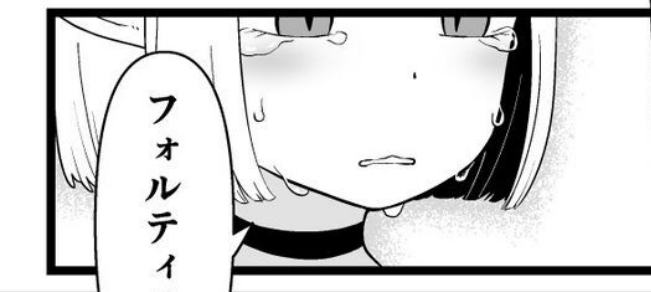
神が見捨てた
のならば

貴女の悲しみすら
癒せぬ身分になんの
意味がありません

他でもないこのお方が
求めてくださって
いるならば

どうか
この愚か者を
お許しく下さい

もう貴女を
神子とは
言いません





リイシヤ様

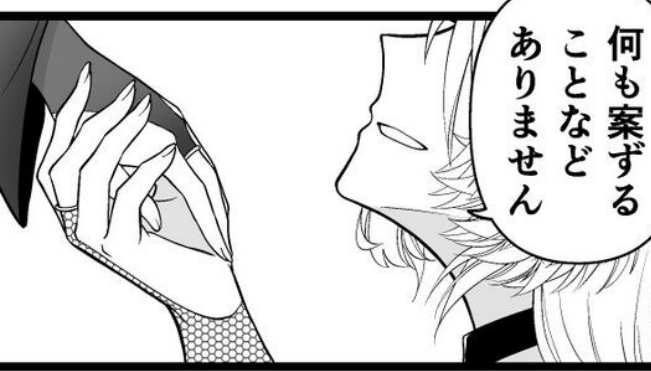


フォルテイス…



わ

私…



何も案ずることなどありません



私などで良ければ

唯一私だけが

永遠に御名をお呼びしましょう

このお方を救う資格を持つのだ



魔を受け入れた
身体が悦んで
いるのが分かる

甘美な
味と匂い



あま...♡
ちゅっ



頭が痺れる...♡

あま...♡
ちゅる♡

あ...♡
あ...♡
そんな...♡
ゆるゆるゆるゆる

はあ...っ

こうして包み込んで
こんなに余って
しまいますね...

私のために
今まで育てて
くださったって
欲望の大きさ...♡

あま...♡
ちゅっ

あ...♡

あ...♡





何と健気なお方♡

この小さくか弱き
お身体におよそ
そぐわぬモノを
ひた隠しにして

私にぶつけたくて
堪らぬ日々を
耐え忍ばれて
こられたのだ



その事実だけで

あん...



雌の部分が
どうしようもなく
疼いてしまう♡♡♡

あっ
フォルテイス

出...っ♡
セクッ
あ...♡
セクッ



まだこんなに

飲みきれ
ない……♡



この身は雌雄
どちらの快樂も
得られる



「賢くならぬ」



貴女のいじらしさが
愛らしくてたまらぬと
濡れて蠢く肉を

慰めたい…
甘やかしたい…♡

彼女らの言う通り

私は生まれる性を
間違っていたのだろう

この奥に溢れるまで
注いでほしいと
ひくついている
でしょう

この柔らかな
雌の身体で
全てを包んで

どうぞ
いらして
ください

何の不安も
感じさせず

ただ快樂のみで
満たして
差し上げたい…♡

リイシヤ様…

くばっ♡

んっ

んっ

あ

あ

ゼク

ゼク

貴女のいじらしさが
愛らしくてたまらぬと
濡れて蠢く肉を

慰めたい…
甘やかしたい…♡

彼女らの言う通り

私は生まれる性を
間違っていたのだろう

この奥に溢れるまで
注いでほしいと
ひくついている
でしょう

この柔らかな
雌の身体で
全てを包んで

どうぞ
いらして
ください

何の不安も
感じさせず

ただ快樂のみで
満たして
差し上げたい…♡

リイシヤ様…

くばっ♡

ヒク

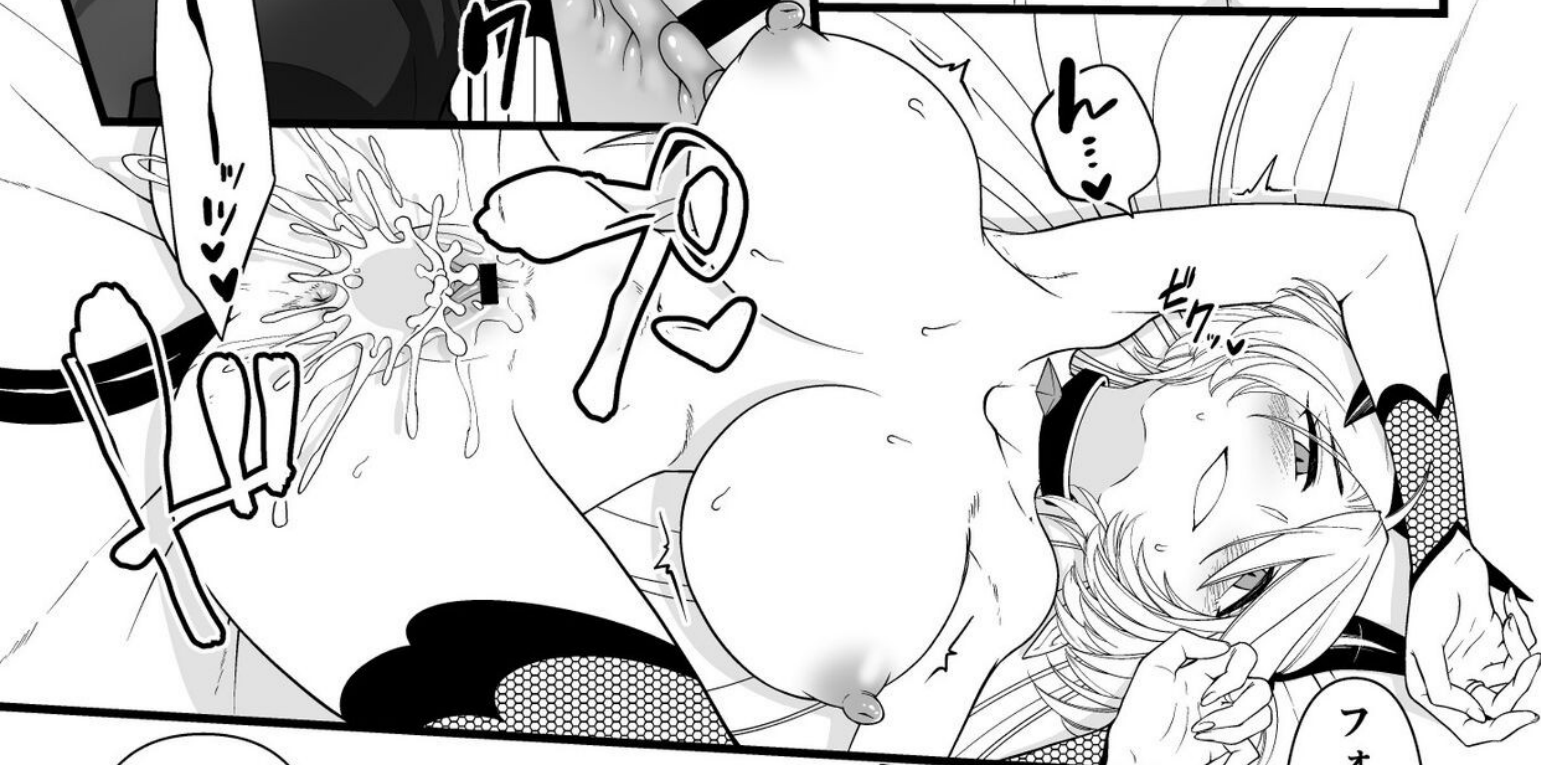
ヒク

あ

あ

ゼク

ゼク



分かりますか？
リイシャ様の
隅々までを愛でよう
とする肉の感触…

貴女をお迎え
できた嬉しさに
ひとりでうねって
おりますでしょう

ずっと私を渴望して
くださっていたこと…
気休めにご自身で慰めて
おられたであろう
ことを思うだけに
貴女が愛おしくて
堪らなくなるのです

もう何も
我慢する必要など
ありません♡
お気の済むまで
ここにお出しく下さい

いつでも何度でも
貴女の精を
飲み干したくて
私の中は切ない
のですから…♡

あ…あ……っ
溶けしまいそう…

柔らかくて
とろとろで…

あ…あ…あ…
あ…あ…あ…
あ…あ…あ…

あ…あ…あ…
あ…あ…あ…
あ…あ…あ…

あ…あ…あ…
あ…あ…あ…
あ…あ…あ…

あ…あ…あ…
あ…あ…あ…
あ…あ…あ…

あ

はっ♡ はっ♡

ゼク

ゼク
ゼク
ゼク

ゼク

ゼク

あ…あ…あ…♡



腰が抜けてしまい
ましたか？
貴女ご自身はまだまだ
物足りぬようですが

あふっ
あ

ゲリ
ゲリ

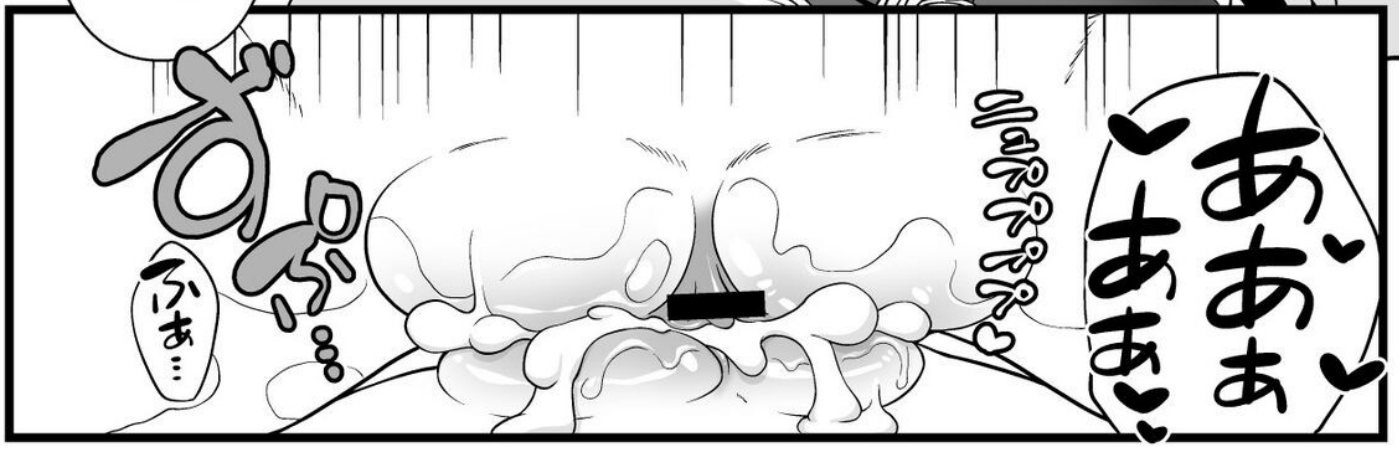


お疲れなものも無理からぬこと...

ずっと腰を振ってくださっていたのです

ギニ...

後は私にお任せください...ッ



ぷるぷる
ふま...

あぁあ
うぁぁぁ



あぁっ...これ... 凄いです...♡♡

一突きごとに奥まで届いて 快楽が全身に響くようです♡

ギョッ
ギョッ
ん
スッ
スッ
あぁ
あぁ



ずっと気持ちいい...♡

あ...♡

んっ

抜いても挿れても絡みついてきて

ズググ

お♡
は♡
ち♡
ゅ♡
ん♡

は♡
ち♡
ゅ♡
ん♡

ズググ



そうです♡
...♡

もっと私の身体を味わってください

はっ♡

はっ♡

貴女が望まれた私の女体...



あ...あ...っ
フォルティスっ...

わたし...

んあ♡

あ♡

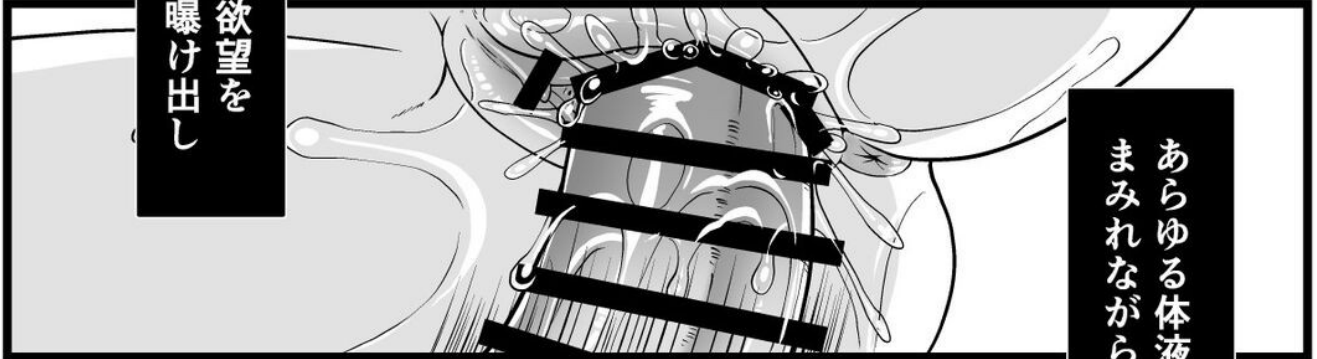
幸せすぎて
どうにかなんて
しまいそう...!!



神の威厳と民の崇拜を
背負った神聖なる神子が



決して冒されざる
べき貴きお方が



欲望を
曝け出し

あらゆる体液に
まみれながら



私の中の熱に翻弄され
赤子のように分別なく
泣いている……

今や



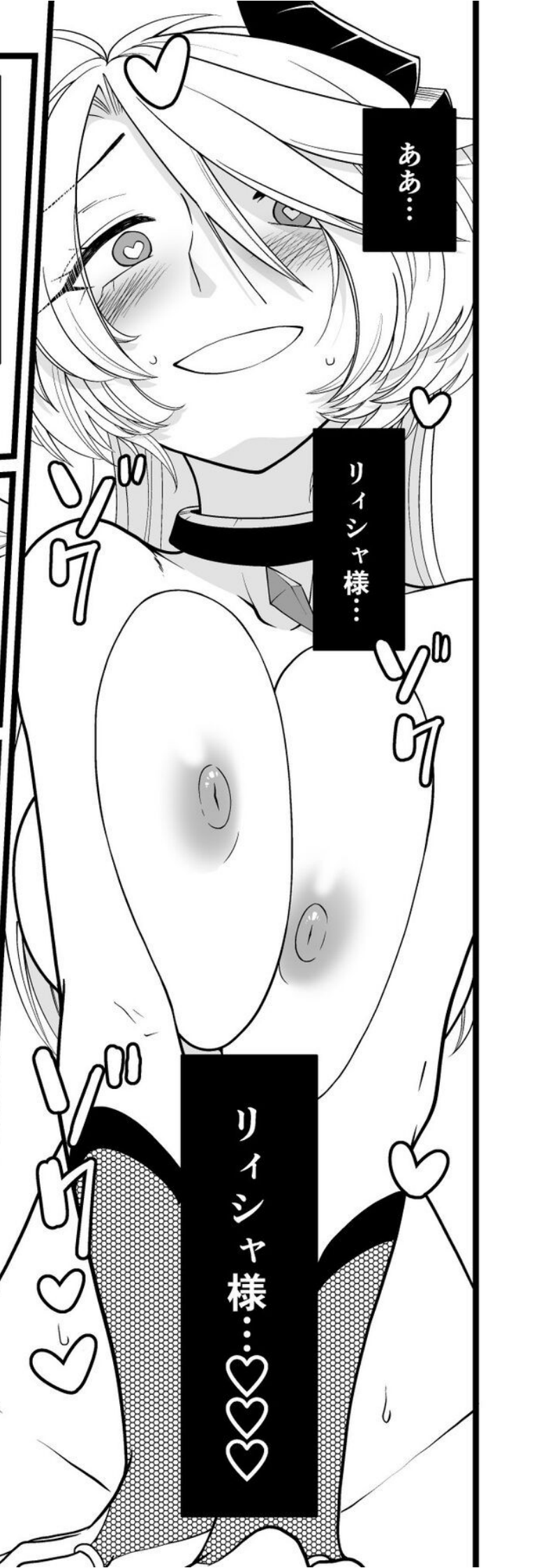
きつと私はずっと
こうしたかったのだ



この身体になる
前からずっと...♡



このお方の全てを
腹の中で蕩かして
しまいたい...♡♡♡

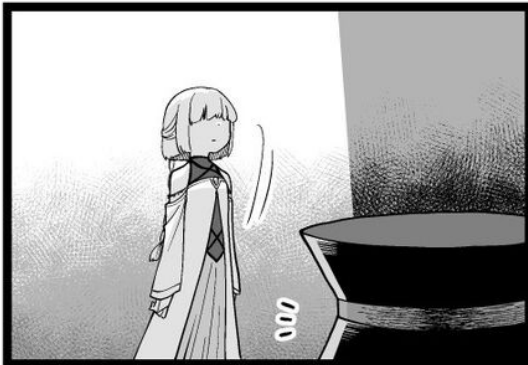


あぁ...

リイシヤ様...

リイシヤ様...♡♡♡♡





夜は好きです

静寂の裏に
人々の無数の
営みが息づいて
いる時間

安息

そして…

…神子様？

カストス

私たちも
皆に習って

良き夜を
過ごしませんか？

な……

ふふ…
知っている
のですよ

…っ
何を…



私を慰み物に
する夢を見て
いたこと…

貴方が夜な夜な

グイッ



魔の者!

いやマナの気配は
紛れもなく神子様…

至急参れ!
守衛!

守衛!



くっ

おや…

カニヤ

何やら騒がしい
と思つて
来てみれば…

いかがされ
ましたか司祭

隊長…!?
帰還したのか

いやそれより
守衛が来ぬなら
貴様で良い

神子様の
ご様子が…

神子様?
いつも通り
では?

それに守衛
でしたら

まさか

貴様…気でも
ふれたか

獣どもの餌
くらいには
なりましょう

ひっ…!?

邪魔
でしたので

ゴーン

本来あるべき存在に
戻ったまでのこと

何と邪悪な…

貴様の
仕業か！

魔に堕ち神子様を
誑かすとは！

誤解です

リイシヤ様が
私を導いて
くださった
のですよ

リイ…!?

かくなる上は
2人もろとも

馬鹿な…
神子様の
名が漏れて
しまったのか!?





リイシヤ様に
手を出すな

ぐっ
ぐっ

ガッ...



ぐっ...
う...

お...
愚か者め...

神子様は
奇跡の代行者

その存在が消えれば
ここマズアは
たちまち魔が蔓延り
人々は危険に
晒されてしまう




愛?

戯言を




神の...神子様の
愛なくばか弱き民は
生きられぬのだぞ...!



リイシャ様の
愛は今や私だけに
注がれる

これまでこのお方を
利用してきた報いを



この街は
受けるのだ





ああ
大変喜ばしい
ことですわ



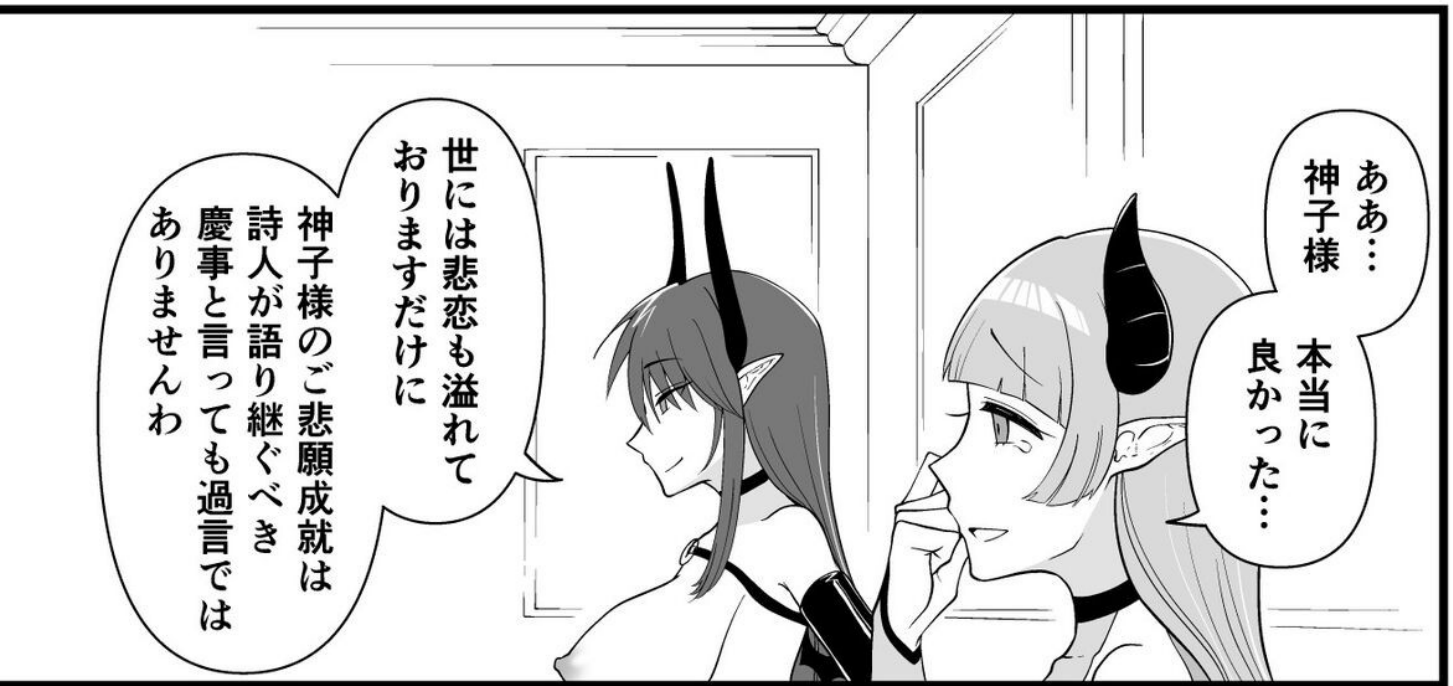
貴方様を正式に
お迎えできた
ことを祝して



今宵は宴で
しょうございます



騎士様♡



ああ：
神子様

本当に
良かった：

世には悲恋も溢れて
おりますだけに

神子様のご悲願成就是
詩人が語り継ぐべき
慶事と言っても過言では
ありませんわ



あん♡そんなこと
今は結構ですよ

どうぞ情事を
存分にお楽しみ
くださいませ♡



あっ：
ん♡皆には感謝
しています：

私：



宴ならば皆で
酔わねば面白く
なからう

お前たちもそれを
期待してここに
いるのだろうか？



ふ：
お前たちも
加われ

え：ですが
折角お二人の：



はあ
マズアを陥した
褒美も兼ねて…

は
と言えば遠慮する
気も無くなるか？

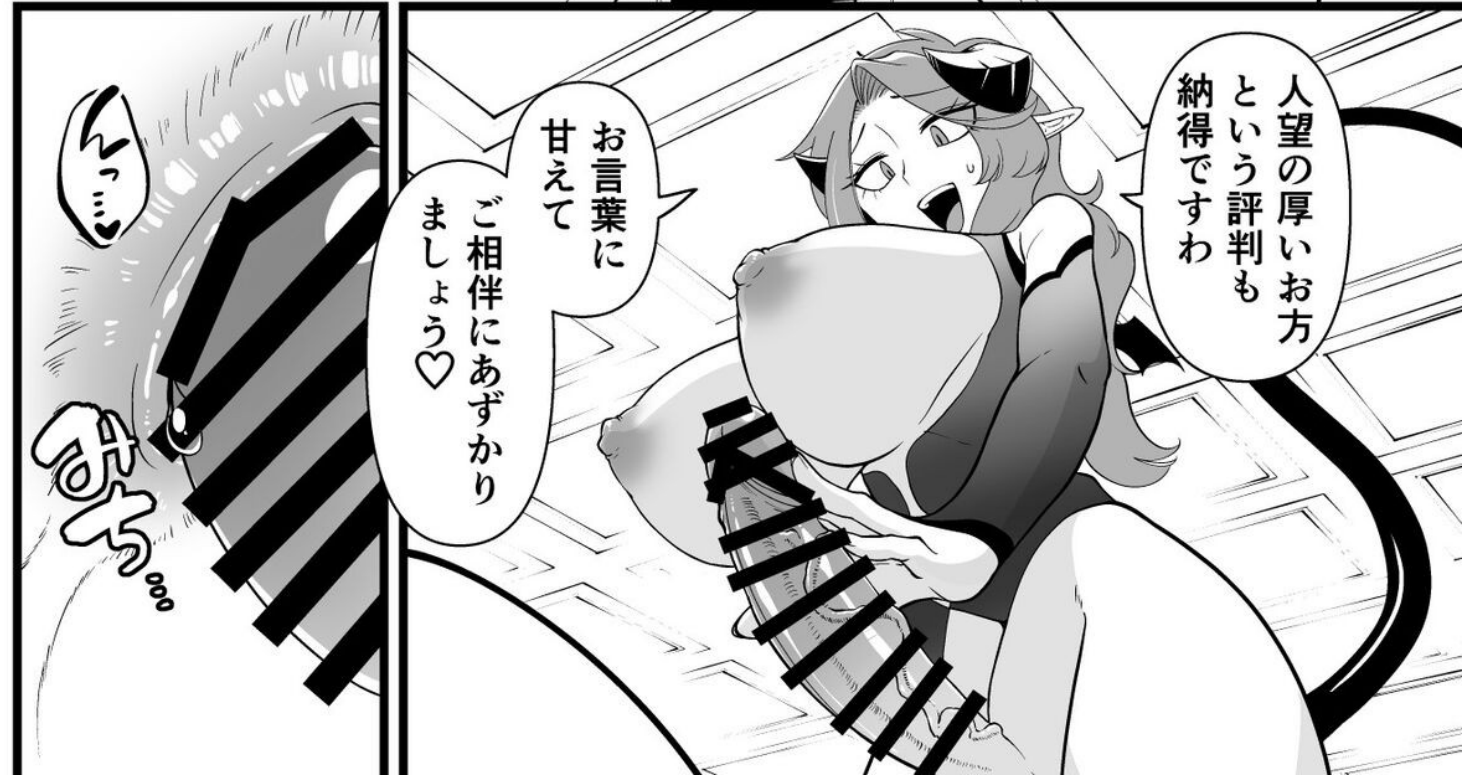
はっ
初めに私を
犯したように

全員で

容赦なく徹底的に
やると良い…♡

セクッ
セクッ
ぐちゃやま…

うふふ…



人望の厚いお方
という評判も
納得ですわ

お言葉に
甘えて

ご相伴にあずかり
ましよう♡

ん…

みち…



あー!

もっと狭く
なってる...

うふふ♡
悦いでしょうっ?
それに...

ご覧ください♡
騎士様のこの
情けないお顔♡

これを見られるのが
多勢で追い詰める
醍醐味ですわ♡

以前は魔鏡越し
でしたものね♡
直接間近で見ると
堪らないでしょう?

ああ...あの
フォルティスが...

おん♡
こんなに
はしたない
表情で...

ズンズンズン



ああ…♡

さあ騎士様♡
お言葉通り
全員のお相手を
お願いします♡



ん



ん

ん

フィル

フィル



は

ニユル…



は

たゆん

は

は

は



こんな
美味しそうに
舐って…♡

うふふ…♡
陰莖の扱いもすっかり
板に着いてきましたわ

ん

は

ん

ズグッ

ん



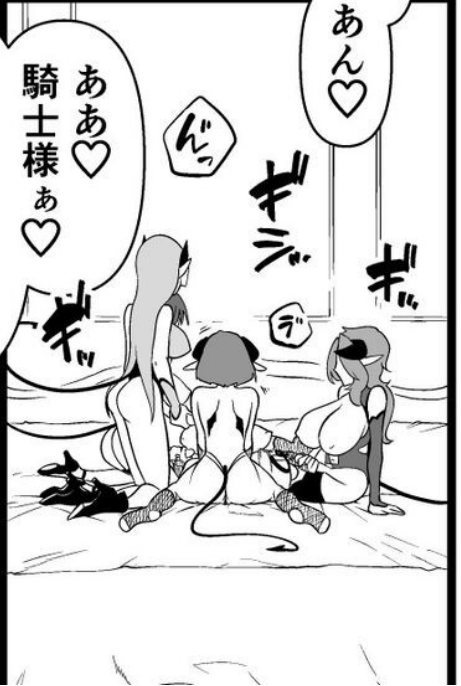
あっ
あん♡



もう出て
しましますっ♡♡



ごめんなのっ♡♡



ああ♡
騎士様あ♡



あっ
あん♡

ああ♡
騎士様あ♡

いめんなるこ♡

もう出て
しまします♡♡





折角ですから
こちらも…

身も心も雌に
なってしまうわ

これですっかり
持ち腐れ
ですわねえ

精々神子様可愛がって
いただく箇所を
増やすくらいしか
使い道がありませんわ

フォルティス
の…

おオオッ♡

おオオッ♡

おオオッ♡

ズッ

ズッ

ズッ

おオオッ♡

おオオッ♡

おオオッ♡

おオオッ♡

おオオッ♡

おオオッ♡



あー

刺激すると
中がうねって
心地良い……♡

ツクツクツクツク♡

ふい

腰が止まらない♡♡

はひ

はひ



ふおる

キョッ♡
キョッ♡

♡♡♡♡♡
♡♡♡♡♡
♡♡♡♡♡



あー♡♡♡
あッ♡
あッ♡
あッ♡

神子様♡
子猫のように
騎士様に甘えて
お可愛らしい♡



騎士様も密着
できて嬉しい
のですね♡

後ろをぎゅうぎゅう
締めつけておりますわ♡

あッ♡

ガク

ガク



それでも私たちを
忘れず愛でて
くださって

その慈悲深さ...
もといいやらしさ

我々もますます
昂ってしまひ
ますわ♡



全ての穴に
溢れるほど
注いで

ああ...ぜんぶ



騎士様

良き宴を
ありがとうございました

ふふ…本当に
仲睦まじい…♡



ちゅっ

んっ

お二人の美しき
愛の力あれば

ちゅっ

ふ

ちゅっ

ちゅっ

ちゅっ

ちゅっ

これから
楽しみですよ♡

我々の未来もきつと
明るいものと
なりませう

んっ

んっ

んっ

ああ…

ちゅっ

よろしく頼む♡



ちゅっ

んっ

お二人の美しき
愛の力あれば

んっ

ふ

ちゅっ

んっ
んっ

我々の未来もきつと
明るいものと
なりませう

ちゅっ

ちゅっ
ちゅっ

ちゅっ

ちゅっ

これから
楽しみですわ♡

ちゅっ

んっ

ああ…

ちゅっ

よろしく頼む♡

